平成28年度（2016年度）

事 業 実 施 報 告

新潟県立環境と人間のふれあい館
－新潟水俣病資料館－

ご　　挨　　拶

昨年のこの「ご挨拶」で、来館者が前年に引き続き年間４万人を保持していることは素晴らしいことだと申し上げましたが､新潟水俣病公式確認から５０周年が過ぎた今年度は、残念ながら４万人の大台を確保することはできませんでした｡このことにめげることなく、職員一同がんばりたいと思っております。

がんばるとは阪神淡路大震災のときの逸話として、漢字の頑張るではなく、肩肘をはらないでがんばるという意味で､「がんばる」という字を使うものです。

今までご案内して参りませんでしたが、公害資料館の連携についてお話しします。

２０１５（平成２７）年四日市公害の資料館の開館によって、公立公害資料館４館が揃いました。せっかく揃った公立資料館なのですから､「公害資料館ネットワーク」を創って地区住民を含めた来館者への啓発活動を個々で行うのでなく、ネットワークとしてこれら啓発活動を行っていこうという趣旨で２０１３（平成２５）年これの旗揚げが新潟でなされました。以降、第２回目を「富山のイタイイタイ病資料館」で第３回を「四日市の四日市公害と環境未来館」で、そして第４回目を水俣市立水俣病資料館で行いました。

未だ本格的な活動は十分に行われてはおりませんが、少なくとも各館で常備しているパンフレットについては自由に入手することが出来るほか、語り部さんの交流を図っていることから、その内容についても聞くことができるなどの利点があります。

新潟水俣病の発生が公式に確認されてから一昨年で５０年目を迎えたわけです。

昨年のこの欄で、展示方法の一部についてご説明をいたしましたが、その説明の一つの「阿賀野川スコープ」について再度説明をさせていただきます｡従来の展示については、パネル等を啓示してどうぞご覧下さいという形でした。この方式では阿賀野川水系の知識があればよろしいのですが、県外の方で十分な知識がないと阿賀野川の何処に昭和電工があるのか、どの位の工場規模なのかなど分からなかったのですが、今回取り入れた「阿賀野川スコープ」では、それぞれの箇所にあるマーカーをクリックしていただけば、それらが分かり、自分で操作し勉強することができるというものになっています。

ぜひご来館のうえ、操作してみていただけたらと思います。

2017年（平成29年）３月

新潟県立環境と人間のふれあい館
－新潟水俣病資料館－
館長　　塚　田　眞　弘

目　次

Ⅰ　新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の概要

1　新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の目的 ………… 1

2　事業体系 ………………………………………………………… 1

3　施設の概要 ……………………………………………………… 2

4　事業推進体制 …………………………………………………… 3

Ⅱ　平成28年度　事業報告

1　施設の利用状況 ………………………………………………… 4

2　展示学習及び教育・啓発推進事業 …………………………… 5

3　資料整備促進事業 ……………………………………………１４

4　アーカイブス事業 ……………………………………………１５

5　来館者等向け環境啓発活動 …………………………………１５

Ⅲ　平成28年度　利用実績

1　月別来館者数 …………………………………………………１６

2　視聴覚利用数 …………………………………………………１６

3　学校利用実績 …………………………………………………１７

4　団体利用実績 …………………………………………………２０

〔参考〕　来館された児童・生徒などの感想 ……………………２２

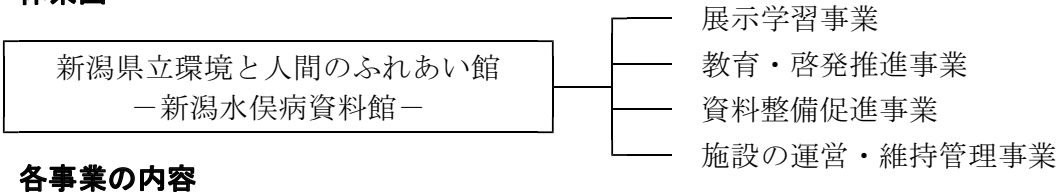
Ⅰ 新潟県立環境と人間のふれあい館－新潟水俣病資料館－の概要

1　新潟県立環境と人間のふれあい館－新潟水俣病資料館－の目的

新潟水俣病という公害を経験した県として、その経験と教訓を生かし二度と同じような公害を発生させてはならないということを後世に伝え、水の視点から環境を大切にする意識を育むとともに、新潟水俣病に関する情報の発信、提供に努めることにより、公害の根絶と環境保全の重要性を啓発する。

2　事業体系

(1) 体系図



(2) 各事業の内容

ア　展示学習及び教育・啓発推進事業

新潟水俣病についての理解を深めるとともに、水の視点から環境の大切さなどを啓発するため、下記の事業を重点的に活動しました。また、常設展示物や実験等での体験を通して参加体験型施設としての機能の充実を図るとともに、利用者に対するサービスの充実と効率的な管理運営に努めました。

平成28年度においては、患者や関係者等を講師に招いた講演会及び写真パネル展・映像上映会の開催、教育機関と連携した講習会や講座の開催、新潟水俣病に関する研究の支援等を行うとともに、教育用資料等の印刷物を作成・発行しました。

・新潟水俣病学習、人権・環境教育での活用、学習支援
・新潟水俣病患者による「語り部」口演の実施
・水俣病発生地域間交流事業の実施（熊本県水俣市）
・小学校中学校への地域の環境学習等支援事業の実施
・環境学習等支援事業全体発表会（県内小中学校対象）の開催
・新潟水俣病講演会、講習会、写真展・映像上映会の開催
・大学と連携した新潟水俣病に関する普及・啓発活動及び研究及び講義等の支援
・水俣病経験の普及啓発セミナー（環境省主催）への協力及び講演
・公害資料館ネットワークの参加及び公害資料館連携フォーラムの出席
・小学生向け環境学習資料「新潟水俣病が教えてくれたもの」の作成、配付
・「新潟水俣病20の疑問」各国語版（中国語、ロシア語、ハングル）の作成
・夏休みこども工作「利再来」、クリスマス工作講習会の実施
・環境と人間のふれあい館「キッズクラブ」の開設
・ホームページ、メールマガジン、ツイッターなどを利用した情報発信、広報
・公害資料館パンフレット配布、パネル紹介コーナーの設置

イ　資料整備促進事業

新潟水俣病に関する資料等の収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。

ウ　施設の運営・維持管理事業

館の事業活動（常設展示、普及啓発、資料収集）の効率的な運営と定着を図るとともに、温水洗浄便座を一部導入するなど施設の安全かつ快適な維持管理に努めました。また、管理運営協議会における意見を反映させて、円滑でより良い施設運営を目指しました。

3　施設の概要

(1) 展示エリア（常設展示）

ア　水辺のいきものと阿賀野川のくらし

川の中をイメージした空間で、水辺にすむ生き物たちの宝庫となっている阿賀野川の風景や歴史を紹介しています。また、阿賀野川流域ジオラマとパソコンの組合せによる関連地点の説明や、水俣病発生当時の流域の生活や教訓を幻想的な空間の中で感じ取ることができます。

「阿賀野川スコープ」

「阿賀野川シアター」

イ　新潟水俣病

新潟水俣病の歴史や教訓・経験を、パネル展示と映像・資料で紹介しています。

また、公害を発生させないためにはどうすればよいのかを考えるきっかけとなるような情報を提供しています。

「歴史年表グラフィック」

ウ　水とわたしたちの生活

生活や環境の視点から水の大切さを紹介しています。また、環境クイズや人力水質浄化装置など、自ら体験しながら楽しく学習することができます。

「人間の活動と環境の関わり展示」

(2) 研修室

映像「新潟水俣病」及びアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」を上映して、新潟水俣病の経験と教訓を伝えています。また、講演会などの企画事業を行っています。

最大利用定員：100人（椅子のみ使用の場合）

設備：100インチスクリーン&プロジェクター(ＤＶＤ、ＰＣ対応)

(3) 多目的室

各種団体の小会議や学習の場として利用できます。

最大利用定員：10人

(4) 図書室

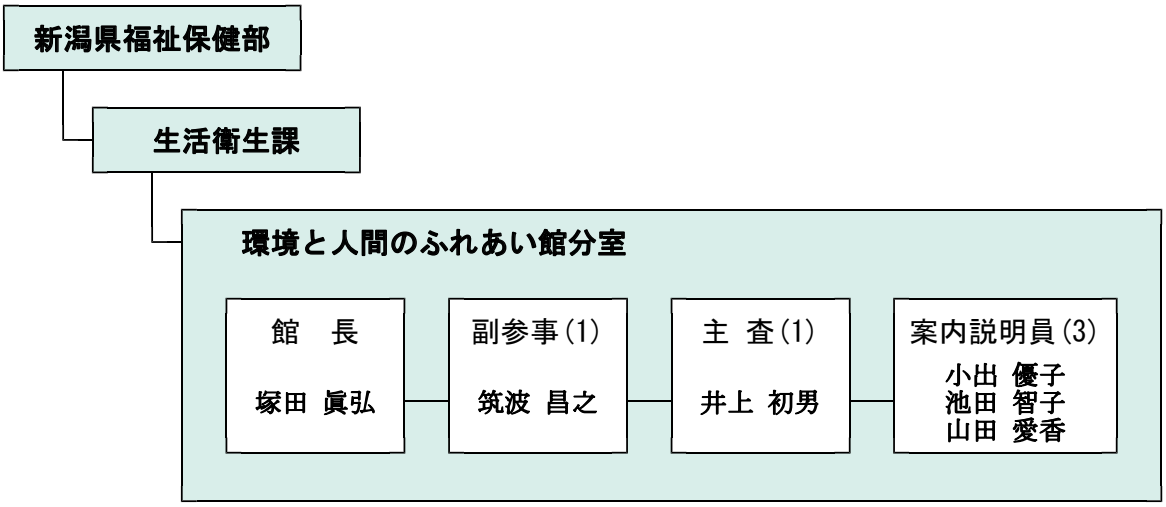
水俣病や環境に関する図書及びビデオ・ＤＶＤソフト等を収蔵し、閲覧や視聴が可能です。また、パソコンを利用して当館ホームページから水俣病に関する資料の検索や情報をご覧いただけます。

書籍：2,080冊、VTR：352本、マイクロフィルム（戦後日本公害事件史料集成）75巻

(5) ホール

明るい吹抜けのアメニティ空間で、年間を通じ写真パネル展や夏休みこども工作などを開催しています。各地の公害資料館のパンフレットを一堂に集めたコーナーも設置しています。

4　事業推進体制



Ⅱ 平成28年度 事業報告

1 施設の利用状況

(1) 来館者

平成28年度の来館者数は37,728人でした。平成13年８月の開館からの累計来館者は591,795人となりました。

(2) 学校等及び団体の利用状況

平成28年度の団体利用の状況は、学校関係は112校（6,630人）、教育関係団体37団体（707人）、その他35団体（1,484人）で、計184団体（8,821人）が利用しました。

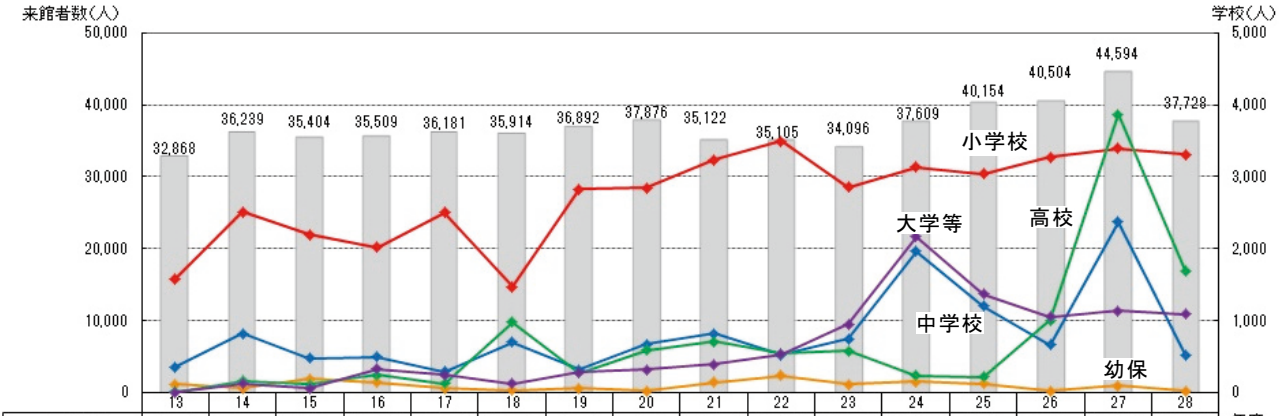
≪学校利用状況≫

年度	合計		幼・保育園		小学校		中学校		高等学校		大学等	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
28	112	6,630	1	19	67	3,312	12	522	8	1,691	24	1,086
27	129	10,866	2	98	70	3,395	20	2,370	10	3,864	27	1,139
26	115	6,008	1	21	71	3,269	9	659	6	1,007	28	1,052

≪団体利用状況≫

年度	合計		教育関係団体										その他団体	
			小学校教員		中学校教員		高等学校教員		教育委員会等		計			
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
28	72	2,191	25	464	9	120	1	48	2	75	37	707	35	1,484
27	58	1,576	21	463	3	26	3	260	5	232	32	981	26	595
26	65	1,834	23	272	6	181	1	7			30	460	35	1,374

［参考］≪年度別 来館者数・学校利用状況の推移≫



	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
来館者数	32,868	36,239	35,404	35,509	36,181	35,914	36,892	37,876	35,122	35,105	34,096	37,609	40,154	40,504	44,594	37,728
幼稚・保育園	109	60	189	138	53	30	60	19	145	238	115	148	123	21	98	19
小学校	1,580	2,511	2,194	2,015	2,499	1,470	2,827	2,846	3,232	3,495	2,856	3,130	3,038	3,269	3,395	3,312
中学校	354	816	475	491	287	698	320	667	823	519	748	1,962	1,203	659	2,370	522
高校	13	158	113	245	120	981	267	586	707	540	582	230	215	1,007	3,864	1,691
大学等	0	122	53	325	241	125	283	314	394	529	951	2,163	1,371	1,052	1,139	1,086

※平成13年度は、開館日の平成13年8月1日から平成14年3月31日までの集計。

2　展示学習及び教育・啓発推進事業

(1) 語り部口演

新潟水俣病の歴史や現状を正しく伝え、差別・偏見の解消及び環境の大切さを伝えるために、語り部による口演を115回（5,089人）行いました。

口演回数を対象別にみると、小学校55回、中学校9回、高校4回、大学等15回、教員19回、その他13回となっています。

≪平成28年度 語り部別口演実績≫

語り部	合計		館内		出張		学校・団体等対象別語り部回数					
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	小学校	中学校	高 校	大学等	教 員	その他
小武　節子	16	1,143	10	380	6	763	5	1	1	2	4	3
山﨑　昭正	20	931	13	613	7	318	8	2	1	6	0	3
山田　サチ子	18	747	17	672	1	75	11	2		3	2	
立川　小三郎	4	107	4	107							2	2
小町　ゆみ子	22	924	17	639	5	285	11	1	1	3	4	2
稲垣　シズヱ	19	717	19	717			9	3	1	1	4	1
曽我　浩	15	514	15	514			11				2	2
（語り部DVD）	1	6	1	6							1	
合　計	115	5,089	96	3,648	19	1,441	55	9	4	15	19	13

※「館内」：環境と人間のふれあい館内で行った口演、「出張」：館外で行った口演

≪年度別 語り部口演実積≫

年　度	合計		館内		出張	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
28年度	115	5,089	96	3,648	19	1,441
27年度	112	6,355	100	3,944	12	2,411
26年度	106	5,024	93	3,521	13	1,503

○ 新潟水俣病の経験と教訓について口演する語り部のみなさん

小武 節子さん

山﨑 昭正さん

山田 サチ子さん

立川 小三郎さん

小町 ゆみ子さん

稲垣 シズヱさん

曽我 浩さん

(2) 新潟水俣病の学習

映像「新潟水俣病」やアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」（新潟県作成）を学校、団体及び一般来館者を対象に123回（3,748人）上映し、水俣病の発生から現在に至るまでの歴史や被害者の苦しみ、水環境の大切さなどを広く伝えました。

また、来館の際に理解をより深くするため、小・中学校等での事前学習を勧めており、これらの映像を貸出しました。

	合計	学校					団体			一般
		小学校	中学校	高校	大学等	小計	教員等	その他	小計	
上映回数	123	41	7	4	13	65	19	17	36	22
視聴団体数	101	37	6	3	7	53	30	18	48	－
視聴者人数	3,748	2,708					865			175

※映像の貸出は含まない。

(3) 水環境の学習

水の大切さ及び環境保全について説明しました。

水の環境を学習するために、ＣＯＤパックテストによる水質実験を行いました。

実験名	回数	参加者数
ＣＯＤパックテスト	92回	383人

(4) 水俣病経験の普及啓発セミナー

開催日：平成29年2月25日

研修地：ＴＥＰＩＡホール（東京都港区北青山2－8－44）

内　容：「水俣病・公害の経験を語り継ぐために～公式確認60年目の節目～」（環境省主催）に参加し、研修を行いました。

≪セミナーの詳細≫

・「水俣病公式確認60年を振り返る」　遠藤邦夫氏（一財）水俣病センター相思社理事

・石川さゆりコンサート報告　坂本しのぶ氏　金子雄二氏　萩嶺淨円氏　徳冨一敏氏

・「新潟における「水俣学習」の取組」　環境と人間のふれあい館副参事　筑波昌之

・パネルディスカッション　「水俣・水俣病学習」の取組みと課題、今後の方向性

　コーディネーター　　吉永利夫氏

　パネリスト　小川輝光氏　中原久子氏

・主催　　環境省

(5) 各種企画事業の開催

ア　新潟水俣病写真展

○ 写真展第1部「水俣病と阿賀野川の暮らし」

開催期間：平成28年4月14日～5月29日

入館者数：3,214人（期間中）

○ 写真展第2部「水俣病患者のたたかいと生活」

開催期間：平成28年6月1日～7月10日

入館者数：3,309人（期間中）

イ　ゴールデンウィーク企画講演会

「水俣病と共に、ある医師の姿
～家族からみた医師　原田正純～」

開 催 日：平成28年5月5日

講　　師：原田　利恵氏（故原田正純医師の長女）

聴講者数：98人

ウ　開館15周年記念講演会

「新潟水俣病50年を超えて
～いま、阿賀に生きる若者たちは～」

開 催 日：平成28年7月24日

パネリスト：小林　茂氏（「阿賀に生きる」撮影カメラマン）
山﨑　修氏（「阿賀に生きる」撮影助手）
旗野　秀人氏（「阿賀に生きる」制作仕掛人）
平岩　史行氏（「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画代表）
小林知華子氏（「あがの岸辺にて（復刻版）」編集長）

聴講者数：51人

エ　新潟水俣病写真展

開催期間：平成28年7月13日～7月24日

入館者数：1,644人（期間中）

オ　「阿賀に生きる」映画上映会

開 催 日：平成28年7月24日

視聴者数：32人

カ　水俣病発生地域間交流事業

開催期間：平成28年8月3日～8月5日

（新潟県）　新潟市立太田小学校
　　新潟市立横越小学校
　　阿賀野市立保田小学校

（水俣市）　水俣市立水俣第二小学校
　　水俣市立湯出小学校

水俣市立水俣病資料館

参加者数：５校、児童24人、教員５人　計29人
（新潟県）　児童12人、教員３人　計15人
（水俣市）　児童12人、教員２人　計14人

事業内容：
○水俣病に関する学習、現地見学
・水俣市立水俣病資料館、百間排水口、エコパーク水俣、慰霊碑などの見学・学習
○現地体験学習
・ほっとはうすで胎児性水俣病患者さんとの交流、施設見学
・ものづくり体験
○新潟と水俣の児童の交流
・グループ学習・体験活動を通じて学んだことについて意見交換、グループ学習発表会

ほっとはうす

グループ学習発表会

キ　フィールドミュージアム事業パネル展

「懐かしい写真で振り返る　阿賀野川・光と影の近代ものがたり
～イザベラ・バードから近代産業まで～」

開催期間：平成28年8月27日～9月30日
入館者数：4,244人（期間中）

ク　水俣病パネル展

開　催　日：平成28年11月20日～12月18日
入館者数：2,327人（期間中）

ケ　水俣病講演会

開 催 日：平成28年11月27日

基調講演：「水俣病公式確認から60年を迎えて」

講師　島田　竜守氏（水俣市立水俣病資料館館長）

パネルディスカッション ：

「水俣病を語り継ぐために」

丸田　秋男氏（新潟医療福祉大学副学長）

島田　竜守氏（水俣市立水俣病資料館館長）

川本愛一郎氏（水俣市立水俣病資料館語り部）

小武　節子氏（環境と人間のふれあい館語り部）

塚田　眞弘氏（環境と人間のふれあい館館長）

聴講者数：60人

コ　環境と人間のふれあい館キッズクラブ

発　足：平成28年9月

会員数：　87名

実施内容：バースデーカードの発送

地曳網体験　11月19日　（参加者　12名）

3月12日　（参加者　20名）

キッズおしごとプチ体験等イベント実施

サ　新潟水俣病講座（大学と連携・協力した講座の開催）

○協力大学：新潟県立大学

開催日：平成28年5月12日、9月13日

講　師：環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：147人

○協力大学：新潟産業大学

開催日：平成28年5月25日

講　師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：32人

○協力大学：新潟大学グローバル教育センター

開催日：平成28年5月28日、8月19日

講　師：環境と人間のふれあい館語り部

環境と人間のふれあい館職員

参加者数：29人

○協力大学：新潟医療福祉大学

開催日：平成28年6月2日、10月20日

講　師：環境と人間のふれあい館館長

環境と人間のふれあい館語り部

環境と人間のふれあい館職員

参加者数：151人

○協力大学：新潟大学全学部

開催日：平成28年6月7日、6月14日、10月18日

講　師：環境と人間のふれあい館館長

環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：320人

○協力大学：新潟大学理学部

開催日：平成28年6月8日

講　師：環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：29人

○協力大学：新潟青陵短期大学

開催日：平成28年6月27日

講　師：環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：35人

○協力大学：敬和学園大学
開催日：平成28年7月14日
講　師：環境と人間のふれあい館語り部
参加者数：46人

○協力大学：長岡技術科学大学
開催日：平成28年8月30日
講　師：環境と人間のふれあい館語り部
参加者数：31人

○協力大学：上越教育大学大学院生
開催日：平成28年11月16日
講　師：新潟市立南浜中学校教員
環境と人間のふれあい館職員
参加者数：25人

○協力大学：上越教育大学
開催日：平成28年12月13日
講　師：上越市立東本町小学校教員
環境と人間のふれあい館職員
参加者数：112人

シ　野鳥写真と愛鳥週間ポスター原画作品展

開催日：平成29年1月14日～1月31日
内　　容：県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里所蔵の野鳥写真展入賞作品及び愛鳥週間用ポスター原画新潟県大会の入選作品を展示
入館者数：1,163人　（期間中）

ス　阿賀野川写真展

開催期間：平成29年2月1日～2月19日
入館者数：1,329人（期間中）

セ　子どもたちがみた新潟水俣病パネル展

開 催 日：平成29年2月22日～3月31日
内　　容：小・中学生の新潟水俣病学習の取組や作文コンクール入賞作品、語り部を聴いての感想等のパネルを展示
入館者数：2,916人（期間中）

(6) 環境の学習と福島潟関連施設との連携

水環境問題や環境にやさしい行動を考える機会を提供するため、身近なものをリサイクル活用した夏休みこども工作教室、クリスマス工作の事業を行いました。また、福島潟自然文化祭の参加などにより、福島潟関連施設と連携した事業を行いました。

ア　夏休み工作教室「利再来（リサイクル）」

工 作 名	回数 (回)	参加者数 (人)
スコープ万華鏡	6	154
水のり万華鏡	6	173
貝がら風鈴	6	177
エコせんす	4	67
ホップアップカード	2	24
ロケット棒	6	100
紙コップター	6	106
スライム	6	146
トルネード	4	67
合計	46	1,014

イ　クリスマス工作「世界で一つのXmasリースを作ろう」

工 作 名	回数 (回)	参加者数 (人)
Xmasリース作り	4	83

ウ　秋の自然環境クイズ

開 催 日：平成28年9月22日
開催場所：環境と人間のふれあい館
参加者数：179人（期間中入館者数：747人）

エ　福島潟自然文化祭への参加

福島潟周辺施設及び環境・市民団体などと協力し、五感を使った様々な体験イベント（当館では環境クイズ）を実施しました。
開 催 日：平成28年9月22日
開催場所：水の駅「ビュー福島潟」、潟来亭、
雁晴れ舎、自然学習園の池、菱風荘、
環境と人間のふれあい館他
福島潟自然文化祭来場者数：約16,000人

オ　福島潟フォトコンテスト　入賞作品展

開催期間：平成28年10月8日～10月30日

入館者数：2,010人（期間中）

(7) 教師用指導資料集等作成事業

学校教育の場において、新潟水俣病の経験と教訓を後世に伝えることにより、人権に対する理解を深めるとともに環境を大切にする意識を育むため、県内の小・中学校に教師用指導資料集や副教材を配付しています。平成28年度は、教育関係者及び新潟市と協力して、小学校児童向け学習資料「新潟水俣病が教えてくれたもの～豊かな阿賀野川の自然と人」を作成しました。

(8) その他の関係事業

ア 「いのち・愛・人権」南魚沼展

開 催 日：平成28年11月29日～12月6日
開催場所：大和公民館
主　催：「いのち・愛・人権」南魚沼展実行委員会、
「いのち・愛・人権」新潟県実行委員会など

イ　地域の環境学習全体発表会

小・中学校への地域の環境学習支援事業実施校及び水俣病発生地域間交流事業参加校の児童・生徒と教師が学習の成果を発表しました。

開 催 日：平成29年2月22日～2月23日
開催場所：環境と人間のふれあい館
参加者数：20校、231人

新潟市立白根小学校、小瀬小学校、小合小学校、越前小学校、升潟小学校、太田小学校、山潟小学校、早通小学校、立仏小学校、横越小学校、江南小学校、白山小学校、岡方中学校、阿賀野市立保田小学校、上越市立東本町小学校、高志小学校、豊原小学校、南魚沼市立五十沢小学校、妙高市立斐太北小学校、新井中央小学校

3　資料整備促進事業

水俣病に関する資料収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。また、主に水環境に関する環境関係書籍やＶＴＲの収集保管を行いました。

（平成28年3月31日現在累計）

水俣病裁判資料等の収集			7,580点
図書等の整備状況	書　籍	水俣病関係	587冊
		その他（河川環境、環境問題など）	1,493冊
	ＶＴＲ		352本
	マイクロフィルム「戦後日本公害事件史料集成　坂東克彦史料」		75巻

４　アーカイブス事業

環境と人間のふれあい館では、新潟水俣病に関する記録に取り組んでいます。

平成28年度は、当館で新潟水俣病の経験と教訓について口演をしていただいている語り部の皆さんを写真と説明で紹介するパネルを作成し、掲示しました。

また、語り部口演の記録を電子媒体に製作・保存し、広く利用できるようにしました。

５　来館者等向け環境啓発活動

来館者等に新潟水俣病の理解を深めてもらうため、平成26年度に作成した「新潟水俣病20の疑問（英語版）」に続き、中国語版、ロシア語版、ハングル版のパンフレットを作成しました。

また、新潟水俣病の理解と、環境と人間のふれあい館の関心を深めていただくため、各種事業案内や学習用資料･所蔵資料などをホームページに掲載しています。

Ⅲ　平成28年度利用実績

1　月別来館者数

月	来館者数(人)			増減	開館日数(日)			1日平均(人)		
	28年度	27年度	26年度	(28-27)	28年度	27年度	26年度	28年度	27年度	26年度
4	3,588	4,673	4,444	▲ 1,085	26	26	26	138	180	171
5	2,560	3,395	3,004	▲ 835	26	27	27	98	126	111
6	3,173	3,406	3,382	▲ 233	26	25	25	122	136	135
7	4,917	3,431	4,830	1,486	27	27	27	182	127	179
8	4,745	4,700	5,050	45	26	26	27	183	181	187
9	3,927	4,552	3,341	▲ 625	26	26	25	151	175	134
10	3,221	4,445	3,249	▲ 1,224	26	27	27	124	165	120
11	3,335	5,608	3,413	▲ 2,273	26	25	26	128	224	131
12	2,007	2,872	2,223	▲ 865	23	24	23	87	120	97
1	1,776	1,912	2,230	▲ 136	23	24	23	77	80	97
2	2,240	2,755	2,662	▲ 515	24	24	24	93	115	111
3	2,239	2,845	2,676	▲ 606	27	27	26	83	105	103
計	37,728	44,594	40,504	▲ 6,866	306	308	306	123	145	132

開館からの累計　591,795人　（平成29年3月末現在）

2　視聴覚利用数

※映像DVD「新潟水俣病」及びアニメ「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」の視聴

(1) 上映回数及び視聴者数

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校	上映回数(回)	1	3	4	8	2	12	10	14	3	3	4	1	65
	視聴者数(人)	27	216	248	159	33	474	317	695	166	146	203	24	2,708
団体	上映回数(回)	1		6	4	13		5	4	2		1		36
	視聴者数(人)	9		112	147	270		184	98	33		12		865
一般	上映回数(回)	3	2			11	3		1	1		1		22
	視聴者数(人)	10	4			143	9		3	4		2		175
合計	上映回数(回)	5	5	10	12	26	15	15	19	6	3	6	1	123
	視聴者数(人)	46	220	360	306	446	483	501	796	203	146	217	24	3,748

(2)「新潟水俣病」ＤＶＤの視聴学校・団体名

ア　学 校

区分	学校数(回数)	視聴学校名
小学校	37校(41回)	保田小、江南小、東豊小、中条小、阿賀小(2)、小瀬小、太田小、五泉小(3)浜浦小、愛宕小、升潟小、亀田東小(2)、天王小、小合小、五泉東小、槇原小、越前小、沼垂小、二田小、内郷小、松浜小、外ケ輪小、早通南小、白山小、紫雲寺小、住吉小(2)、両川小、白根小、岩室小、胎内小(2)、斐太北小、横越小、本田小、岡方第一小、瀬波小、五泉南小、堀越小
中学校	6校(7回)	新潟清心女子中学、木崎中学、高志中等教育学校、南浜中学(2)、五十嵐中学、中国中山大学附属中学
高等学校	3校(4回)	新発田高校、仁愛高校(2)、阿賀黎明高校
大学等	7校(13回)	新潟県立大学(国際地域学部)(2)、新潟大学(グローバル教育センター(3)理学部(1)、新潟青陵短期大学、上越教育大学(3)、敬和学園大学、立正大学、新潟医療福祉大学

イ　団 体

団体区分	団体数(回数)	視聴団体名
教員等学校関係	30団体(19回)	広神西小、広神東小、広神中学校教員、井口小、湯之谷中学校教員、大潟町小、大潟町中学校教員、吉田北小学校教職員、白根小学校教職員、十日町小、南浜中学校教職員、石打小、東本町小学校教職員、六日町小、芦ヶ崎小学校教職員、松長小学校教職員、今町小、今町中学校教職員、保田小学校教職員、橋田小学校教職員、太夫浜小学校教員、片貝小、片貝中、早通南中学校教職員、坂井輪小学校教員、七谷小、七谷中学校教員、新潟県高等学校教職員組合、新潟市小学校教育会学校事務部会、東京私立中学高等学校地理研究会
その他団体	18団体(17回)	新潟日報新人研修、西蒲区歩こう会、菅谷地区保健自治会、寺尾駅前中央自治会、東芝ホームテクノ、土木学会景観デザイン委員会、建設コンサルタント協会北陸支部、新潟県土壌肥料懇話会、新潟市消費者協会白根支部、阿賀野市生涯学習課、長岡市社会福祉協議会、山梨県保護司会、村上市統計調査協議会、上越市町内会長連絡協議会、宿田せせらぎ会、新発田市人権啓発室、関屋大川町1区自治会、新潟市ネイチャーゲームの会

3 学校利用実績

学校区分	学校数 (校)	人数 (人)
幼稚園･保育園	1	19
小学校	67	3,312
中学校	12	522
高等学校	8	1,691
大学･専門学校	24	1,086
合計	112	6,630

[学校内訳]

No.	来館日	曜	所在地	学校名（学年）	人数	目的
1	4月22日	金	新潟市西区	新潟清心女子中学校2年	27	水俣病の学習
2	5月12日	木	新潟市東区	新潟県立大学国際地域学部2年	140	水俣病の学習
3	5月18日	水	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部	23	水俣病の学習
4	5月25日	水	柏崎市	新潟産業大学	32	水俣病の学習
5	5月26日	木	新潟市北区	新潟市立木崎中学校1年	60	水俣病の学習
6	5月28日	土	新潟市西区	新潟大学グローバル教育センター	16	水俣病の学習
7	6月2日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部	16	水俣病の学習
8	6月7日	火	新潟市西区	新潟大学全学部1年	150	水俣病の学習
9	6月8日	水	新潟市西区	新潟大学理学部2年	29	水俣病の学習
10	6月9日	木	阿賀野市	阿賀野市立保田小学校4年	66	水俣病の学習
11	6月9日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部	15	水俣病の学習
12	6月14日	火	新潟市西区	新潟大学全学部1年	150	水俣病の学習
13	6月16日	木	阿賀野市	阿賀野市立京ヶ瀬中学校1年	75	水俣病の学習
14	6月23日	木	東京都	上智大学大学院	2	水俣病の学習
15	6月27日	月	新潟市中央区	新潟青陵短期大学	35	水俣病の学習
16	6月28日	火	新潟市江南区	新潟市立江南小学校5年	69	水俣病の学習
17	6月30日	木	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	78	水俣病の学習
18	7月1日	金	十日町市	十日町市立中条小学校6年	30	水俣病の学習
19	7月2日	土	上越市	上越教育大学3年・院生	12	水俣病の学習
20	7月12日	火	新潟市秋葉区	新潟市立阿賀小学校4年	28	水俣病の学習
21	7月14日	木	新潟市西区	新潟市立小瀬小学校4年	23	水俣病の学習
22	7月14日	木	新潟市北区	新潟市立太田小学校5年	16	水俣病の学習
23	7月14日	木	新発田市	敬和学園大学	46	水俣病の学習
24	7月14日	木	新潟市東区	新潟県立新潟東高校全校	1,030	水俣病の学習
25	7月14日	木	新潟市西蒲区	新潟県立西蒲高等特別支援学校2年	50	水俣病の学習
26	7月20日	水	新潟市中央区	新潟市立高志中等教育学校1年	4	水俣病の学習
27	7月29日	金	新潟市江南区	新潟市立横越小学校5年	6	水俣病の学習
28	8月7日	日	東京都	立正大学堀田ゼミ	20	水俣病の学習
29	8月19日	金	新潟市西区	新潟大学グローバル教育センター	13	水俣病の学習
30	8月30日	火	長岡市	長岡技術科学大学	31	水俣病の学習
31	9月2日	金	五泉市	五泉市立五泉小学校4年	100	水俣病の学習
32	9月2日	金	新潟市西区	新潟市立浜浦小学校4年	77	水俣病の学習
33	9月6日	火	新潟市西区	新潟市立五十嵐小学校5年	130	水俣病の学習

34	9月7日	水	新潟市北区	新潟市立南浜中学校1年	32	水俣病の学習
35	9月8日	木	五泉市	五泉市立愛宕小学校4年	53	水俣病の学習
36	9月13日	火	新潟市西蒲区	新潟市立升潟小学校4年	16	水俣病の学習
37	9月13日	火	新潟市東区	新潟県立大学	7	水俣病の学習
38	9月15日	木	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	162	水俣病の学習
39	9月23日	金	新発田市	新発田市立天王小学校5年	16	水俣病の学習
40	9月28日	水	新潟市秋葉区	新潟市立小合小学校5年	11	水俣病の学習
41	10月4日	火	上越市	上越市立東本町小学校5年	73	水俣病の学習
42	10月6日	木	五泉市	五泉市立五泉東小学校4年	42	水俣病の学習
43	10月12日	水	新潟市西蒲区	新潟市立越前小学校5・6年	22	水俣病の学習
44	10月12日	水	柏崎市	柏崎市立槇原小学校5年	28	水俣病の学習
45	10月13日	木	新発田市	新潟県立新発田高校理数科1年	46	水俣病の学習
46	10月13日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉科	19	水俣病の学習
47	10月13日	木	長岡市	新潟県立栃尾高校1～3年	350	水俣病の学習
48	10月14日	金	新潟市西蒲区	新潟市立越前小学校3・4年	14	水俣病の学習
49	10月14日	金	会津若松市	仁愛高校第2看護科	22	水俣病の学習
50	10月18日	火	新潟市中央区	新潟市沼垂小学校5年	58	水俣病の学習
51	10月18日	火	新潟市西区	新潟大学全学部	20	水俣病の学習
52	10月19日	水	長岡市	県立長岡明徳高校1年	100	水俣病の学習
53	10月20日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部3年	135	水俣病の学習
54	10月20日	木	新潟市西区	新潟市立五十嵐中学校1年	31	水俣病の学習
55	10月21日	金	会津若松市	ザベリオ学園中学校2年	20	水俣病の学習
56	10月25日	火	新潟市秋葉区	新潟市立荻川小学校5年	121	水俣病の学習
57	10月27日	木	柏崎市	柏崎市立二田小学校4年	27	水俣病の学習
58	10月27日	木	柏崎市	柏崎市立内郷小学校4年	10	水俣病の学習
59	11月1日	火	新潟市北区	新潟市立松浜小学校5年	101	水俣病の学習
60	11月2日	水	新発田市	新発田市立外ヶ輪小学校5年	61	水俣病の学習
61	11月4日	金	新潟市北区	新潟市立岡方中学校1年	53	水俣病の学習
62	11月4日	金	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	122	水俣病の学習
63	11月8日	火	新潟市北区	新潟市立早通南小学校6年	98	水俣病の学習
64	11月9日	水	新潟市北区	新潟市立太田小学校5年	16	水俣病の学習
65	11月10日	土	新潟市中央区	新潟市立白山小学校5年	36	水俣病の学習
66	11月10日	土	新潟市西区	新潟市立立仏小学校5年	61	水俣病の学習
67	11月10日	土	新潟市西区	新潟大学理学部自然環境科学科	17	水俣病の学習
68	11月11日	金	新発田市	新発田市立紫雲寺小学校5年	37	水俣病の学習
69	11月12日	土	新潟市西区	新潟大学現代社会論	21	水俣病の学習
70	11月15日	火	柏崎市	柏崎市立荒浜小学校5年	48	水俣病の学習
71	11月15日	火	新潟市北区	新潟市立太田小学校全校	70	水俣病の学習
72	11月16日	水	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	121	水俣病の学習
73	11月16日	水	上越市	上越教育大学大学院生	25	水俣病の学習
74	11月17日	木	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	58	水俣病の学習
75	11月17日	木	新潟市江南区	新潟市立早通小学校4年	30	水俣病の学習
76	11月18日	金	新潟市江南区	新潟市立両川小学校5年	26	水俣病の学習
77	11月19日	土	新潟市秋葉区	新潟市立小合小学校ウエルカム参観日	20	水俣病の学習

78	11月22日	火	新潟市南区	新潟市立白根小学校5年	84	水俣病の学習
79	11月22日	火	会津若松市	仁愛高校第2専攻科	34	水俣病の学習
80	11月24日	木	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	28	水俣病の学習
81	11月29日	火	新潟市西蒲区	新潟市立岩室小学校5年	30	水俣病の学習
82	11月29日	火	胎内市	胎内市立胎内小学校5年	30	水俣病の学習
83	11月29日	火	新潟市中央区	新潟市立有明台小学校5年	41	水俣病の学習
84	11月30日	水	胎内市	胎内市立胎内小学校5年	30	水俣病の学習
85	12月2日	金	妙高市	妙高市立斐太北小学校4年	22	水俣病の学習
86	12月2日	金	三条市	三条市立大面小学校6年	33	水俣病の学習
87	12月6日	火	新潟市江南区	新潟市立亀田小学校5年	94	水俣病の学習
88	12月7日	水	新潟市北区	新潟市立南浜中学校3年	32	水俣病の学習
89	12月9日	金	妙高市	妙高市立新井中央小学校5年	62	水俣病の学習
90	12月13日	火	上越市	上越教育大学学部1年	112	水俣病の学習
91	1月18日	水	新潟市北区	新潟市立南浜中学校（生徒・教員・保護者等）	45	水俣病の学習
92	1月19日	木	新潟市江南区	新潟市立横越小学校6年	97	水俣病の学習
93	1月20日	金	新発田市	新発田市立藤塚小学校5年	22	水俣病の学習
94	1月22日	日	中国広東省	中山大学附属中学2年	33	水俣病の学習
95	1月24日	火	新潟市江南区	新潟市立東曽野木小学校5年	50	水俣病の学習
96	1月24日	火	新潟市西蒲区	新潟市立中之口東小学校5年	21	水俣病の学習
97	1月26日	木	新発田市	新発田市立本田小学校5年	16	水俣病の学習
98	1月31日	火	新潟市西区	新潟市立青山小学校5年	68	水俣病の学習
99	2月3日	金	新発田市	新発田市立荒橋小学校5年	18	水俣病の学習
100	2月7日	火	新潟市北区	新潟市立岡方第一小学校5年	23	水俣病の学習
101	2月8日	水	村上市	村上市立瀬波小学校5年	54	水俣病の学習
102	2月9日	木	新潟市北区	新潟市立太夫浜小学校5年	36	水俣病の学習
103	2月10日	金	新発田市	るんびに保育園	19	施設見学
104	2月22日	水	新潟市中央区	新潟市立山潟小学校5年	55	水俣病の学習
105	2月24日	金	阿賀町	新潟県立阿賀黎明高校2年	59	水俣病の学習
106	2月28日	火	五泉市	五泉市立五泉南小学校5年	67	水俣病の学習
107	2月28日	火	新発田市	新発田市立米子小学校5年	26	水俣病の学習
108	3月1日	水	新発田市	新発田市立加治川小学校5年	40	水俣病の学習
109	3月2日	木	阿賀野市	阿賀野市立堀越小学校5年	24	水俣病の学習
110	3月3日	金	上越市	上越市立豊原小学校4年	38	水俣病の学習
111	3月3日	金	新発田市	新発田市立佐々木小学校5年	22	水俣病の学習
112	3月10日	金	新潟市江南区	新潟明訓中学校2年	110	水俣病の学習

4 団体利用実績

団体区分		団体数 （団体）	人数（人）
教育関係団体	小学校教員	25	464
	中学校教員	9	120
	高等学校教員	1	48
	教育委員会等	2	75
	小計	37	707
その他の団体		35	1,484
合　計		72	2,191

［団体内訳］

No.	来館日	曜	所在地	団体名	人数（人）
1	4月13日	水	新潟市中央区	新潟日報社新人研修	9
2	5月27日	金	新潟市中央区	日本医療社会福祉協会全国大会（新潟大会）	400
3	6月3日	金	新潟市西蒲区	西蒲区歩こう会（動く市政教室）	36
4	6月5日	日	新潟市中央区	新潟水道サービス（水の都新潟バスツアー）	36
5	6月7日	火	新潟市中央区	新潟水道サービス（水の都新潟バスツアー）	44
6	6月7日	火	阿賀野市	阿賀野市立小学校教員（社会科）	6
7	6月8日	水	聖籠町	日本海エル・エヌ・ジー（株）	50
8	6月14日	火	新発田市	菅谷地区保健自治会	27
9	6月15日	水	新潟市西区	寺尾駅前中央自治会（市福祉バス利用）	23
10	6月21日	火	加茂市	東芝ホームテクノ（株）	8
11	6月22日	水	東京都	土木学会景観デザイン委員会	12
12	6月23日	木	新潟市中央区	（一社）建設コンサルタント協会北陸支部 建設環境委員会	6
13	6月24日	金	新潟市	環境関係研究センター所長	19
14	6月29日	水	上越市	上越商工会議所	50
15	7月20日	水	新潟市北区	新潟市北区小学校校長会	15
16	7月22日	金	新潟市北区	長戸呂ディサービスセンター	30
17	7月22日	金	新潟県	新潟県土壌肥料懇話会	50
18	7月26日	火	魚沼市	魚沼市立広神西小学校教員	8
19	7月26日	火	魚沼市	魚沼市立広神東小学校教員	8
20	7月26日	火	魚沼市	魚沼市立広神中学校教員	14
21	7月26日	火	魚沼市	魚沼市立井口小学校教員	13
22	7月26日	火	魚沼市	魚沼市立湯之谷中学校教員	16
23	7月26日	火	新潟市	北陸農林水産企業環境対策協議会「環境セミナー」	60
24	7月29日	金	上越市	上越市立大潟町小学校教職員	22
25	7月29日	金	上越市	上越市立大潟町中学校教職員	16
26	8月4日	木	新潟市北区	ケアセンターカナン（高齢者ケアハウス）	15
27	8月4日	木	燕市	燕市立吉田北小学校教職員	11
28	8月9日	火	新潟市南区	新潟市立白根小学校教職員	18
29	8月9日	火	十日町市	十日町市立十日町小学校教職員	19
30	8月9日	火	新潟市北区	新潟市立南浜中学校教職員	10
31	8月10日	水	南魚沼市	南魚沼市立石打小学校教職員	16
32	8月10日	水	上越市	上越市立東本町小学校教員	2

33	8月10日	水	南魚沼市	南魚沼市立六日町小学校教員	19
34	8月10日	水	津南町	津南町立芦ヶ崎小学校教職員	6
35	8月18日	木	燕市	燕市立松長小学校教職員	6
36	8月19日	金	見附市	見附市立今町小学校教員	20
37	8月19日	金	見附市	見附市立今町中学校教員	23
38	8月23日	火	阿賀野市	阿賀野市立保田小学校教員	15
39	8月23日	火	五泉市	五泉市立橋田小学校教員	8
40	8月24日	水	新潟市北区	新潟市立太夫浜小学校教職員	11
41	8月24日	水	小千谷市	小千谷市立片貝小学校教職員	12
42	8月24日	水	小千谷市	小千谷市立片貝中学校教職員	10
43	8月24日	水	新潟市北区	新潟市立早通南小学校教職員	19
44	8月25日	木	新潟市立西区	新潟市立坂井輪小学校教員	28
45	8月25日	木	新潟市江南区	新潟市立両川小学校教員	10
46	8月25日	木	新潟市江南区	新潟市立両川中学校教員	15
47	8月25日	木	新潟市	「新潟水俣病問題に関心を持つ教員ネットワーク」第5回交流会	12
48	8月25日	木	新潟市	菱風荘子ども体験合宿参加者	26
49	8月26日	金	長岡市	長岡市同和教育研修協議会	25
50	8月30日	火	加茂市	加茂市立七谷小学校教員	10
51	8月30日	火	加茂市	加茂市立七谷中学校教員	7
52	9月9日	金	新潟市江南区	新潟市立横越小学校教職員・保護者（地域と学校ウエルカム参観日）	60
53	9月27日	火	長岡市	長岡人権擁護委員協議会（長岡法務局総務課内）	22
54	10月14日	金	新潟県	新潟県高等学校教職員組合	48
55	10月18日	火	新潟市南区	新潟市消費者協会白根支部	13
56	10月20日	木	阿賀野市	阿賀野市生涯学習課（高齢者学習）	23
57	10月21日	金	長岡市	長岡市社会福祉協議会	24
58	10月25日	火	山梨県	山梨県保護司・更生保護女性会	50
59	10月26日	水	村上市	村上市統計調査協議会	26
60	11月1日	火	上越市	上越市町内会長連絡協議会	41
61	11月16日	水	新潟市	新潟市小学校教育会学校事務部会	7
62	11月20日	日	村上市	宿田せせらぎ会環境保全（村上市地域協議会）	20
63	11月25日	金	新発田市	新発田市人権啓発室	30
64	12月1日	木	新潟市中央区	関屋大川1区自治会（動く市政バス事業）	24
65	12月3日	土	新潟県	ときわ会まつの会	100
66	12月26日	月	新潟市	新潟市総合教育センター初任者研修	70
67	12月27日	火	東京都	東京私立中学高等学校地理教育研究会	9
68	1月28日	土	水俣市	語り部のつどい～環境学習交流会議～	100
69	2月19日	日	新潟市	新潟市ネイチャーゲームの会	12
70	2月25日	土	東京都	国内セミナー 水俣病の教訓を次世代に伝えるセミナー	88
71	3月16日	木	新潟市江南区	新潟市江南区郷土資料館職員等	13
72	3月24日	金	阿賀野市	阿賀野市役所職員研修	60

〔参考〕 来館された児童・生徒などの感想

語り部さんのお話しを聞いて

拝啓

秋涼爽快の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日は、お忙しい中私達のために貴重な時間を割いていただき誠にありがとうございました。

お話しの数々は私達にとって、とても貴重でかつ、有意義なものとなりました。特に私が印象に残ったのは、小町様の実体験のお話しでした。当時、いかに人々の生活が川と密に関係していたかということ。そして、水俣病患者への差別の様子、ご自身、お母様に出ていた水俣病の症状についてのお話しがとても印象的でした。

私は将来、工業系の職業につきたいと考えています。そのため公害問題については必ず学び考えていかなければならないと思っていました。工場周辺の方々に苦しい思いをさせないためにはどうすれば良いのか。そして、もしも公害問題を自分が発生させてしまった時にどのような対応をすることが望ましいのかということについて考えていました。今回は、このような大切な問題と向き合っていく良いきっかけになったのでとても感謝しております。

今後ともお世話になると思いますがよろしくお願いいたします。皆様のますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

敬具

新潟県立新発田高校　理数科１年（H28.10.13来館）

語り部さんのお話しを聞いて

先日は、新潟水俣病について詳しく教えていただきありがとうございました。山﨑さんのお母さんは、山﨑さんに悪影響が出るから新潟水俣病の事を伝えなかった勇気を感じました。私は、山﨑さんの話しを一番前で聞いてました。その時、山﨑さんの表情はとても悲しそうでした。でも、山﨑さんは、「新潟水俣病になったことをほこりに思っている。」と、前を向き続ける姿にとても感動しました。阿賀野かん者会の会長として、責任感があり沢山の人が山﨑さんを大切に思っているはずです。１月25日の新潟日報に水俣病の薬についてのっていました。これからも水俣病と闘いながら、末永くがんばってください。応えんします！

新潟市立東曽野木小学校５年（H29.1.24来館）

語り部さんのお話しを聞いて

先日は、お話しをしてくださり、ありがとうございました。稲垣さんがわかいころに、学校の教師になっていて、足がいたくても、目がそんなにみえなくても、学校の教師になるなんて、ものすごいゆうきとつらさがよく伝わりました。わたしも、大人になったら何をされても、何を言われても、ゆうきでそれをのりこえるようにしたいです。わたしは、左耳が全く聞こえません。毎日耳鳴りが鳴っています。けれど、稲垣さんのおかげでゆうきをもらいました。ありがとうございました。わたしが大人になっても、人を思いやり、差別をしない大人になってみせます。ゆうきのくれる話しをありがとうございました。

新発田市立加治川小学校５年（H29.3.1来館）

語り部さんのお話しを聞いて

先日は、おいそがしい中、水俣病の事を話してくださりありがとうございました。様々なお話しを聞いて阿賀野川は「命の川」という事が分かりました。

その中でも１番おどろいたことは、「動物」です。私は、動物でも水俣病になることが分かりました。また、仲が良かった人たちでも、差別によって人間が変わってしまうことが分かりました。私も節子さんと同じ気持ちで、あたりまえの生活ができないととてもかなしいし、苦しいと思います。水俣病になったらあたりまえの生活がもどってこないのは、とてもかなしいです。その気持ちはみんな同じ気持ちだと思います。

私は、水俣病など病気の人に「さべつ」や「へん見」「わる口」を言う悪い人にはなりません。私は、水俣病や病気になってしまった人のみかたです。これからも体に気をつけて楽しい生活をおくってください。

上越市立東本町小学校５年（H28.10.4来館）

新潟県立環境と人間のふれあい館
－ 新潟水俣病資料館－

〒950-3324
新潟県新潟市北区前新田字新々囲乙364－7
TEL 025-387-1450　　FAX 025-387-1451
ホームページ http://www.fureaikan.net
Eメール　　fureai@abeam.ocn.ne.jp

――――― 利用のご案内 ―――――

◆開館時間　9：30 ～ 16：30

◆休館日　　毎週月曜日（月曜が休日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
臨時休館日についてはお問い合わせください。

◆入館料　　無料

◆団体でのご利用の際は、事前にお申し込みください。

表紙写真　　「福島潟に浮かぶ環境と人間のふれあい館」